


Mコース 永福の寺町周辺

(約 2.9km 井の頭線永福町駅～京王線下高井戸駅)

永福寺村・和泉村の歴史と、区画整理事業や関東大震災に伴う移転寺院によって形成された永福の「寺町」をめぐる  約5,000歩

1 永福稲荷神社 (3321) 3848 永福 1-24-6

永福寺村の鎮守社で、木製の鳥居があります。

2 永福寺 (3324) 3081 永福 1-25-2

地名の由来となった曹洞宗寺院で、16世紀初期の開創です。寺の**正保三(1646)年銘五輪庚申供養塔**は、当時においては珍しい五輪塔形式の庚申塔で、区内最古のものです。

3 塩硝蔵地跡 (えんしょうくら) 永福 1-9

鉄砲弾薬等の貯蔵庫です。宝暦年中(1751～1763)に、江戸防衛の軍事道路でもあった甲州街道沿い(和泉村)に設置されました。明治以後は陸軍の火薬庫となりましたが、大正末期に廃止され、跡地は明治大学和泉校舎と**4**になりました。

4 和田堀廟所 (びょうじょ) (3323) 0321 永福 1-8-1

浄土真宗(本願寺派)の築地本願寺分院で、関東大震災後の復興計画により昭和5(1930)年に墓地を移転したものです。敷地内にある極楽橋は、築地本願寺本堂を手がけた伊東忠太による設計で、当初は廟所前の玉川上水に架橋されていました。**樋口一葉の墓**をはじめ、多くの著名人の墓があります。



5 真教寺 (しんきょうじ) (3321) 7372 永福 1-7-79

親鸞室の**玉日姫**やその父**九条兼実**の坐像があります。築地から移転した浄土真宗(本願寺派)寺院です。

6 託法寺 (たくほうじ) (3321) 3374 永福 1-6-6

大正期に四谷から移転した浄土真宗(大谷派)寺院です。

7 善照寺 (ぜんしょうじ) (3325) 8113 永福 1-6-8

もとは小田原にありましたが、豊臣秀吉の小田原攻めで罹災したといわれています。浄土真宗(本願寺派)の移転寺院です。

8 浄見寺 (じょうけんじ) (3321) 3520 永福 1-6-9

狂歌師の**中井董堂**の墓があります。築地から移転した浄土真宗(本願寺派)寺院です。

9 法照寺 (ほうしょうじ) (3321) 6269 永福 1-6-11

歌舞伎役者の**市川団蔵家歴代**の墓があります。築地から移転した浄土真宗(本願寺派)寺院で、かつては築地本願寺の子院でした。

10 栖岸院 (せいがんいん) (3321) 7850 永福 1-6-12

江戸期に、住職が将軍に拝謁できる独礼の寺格が認められていた浄土宗寺院。河内国丹南藩主の高木家や旗本家の墓があります。麴町から移転してきました。

11 永昌寺 (えいしょうじ) (3322) 4009 永福 1-6-15

幕末の兵学者**平山兵原**の墓碑があります。四谷からの移転の際に下高井戸村の永泉寺を合併した曹洞宗寺院です。

12 龍泉寺 (りゅうせんじ) (3328) 5568 下高井戸 2-21-2

明治末期に、四谷から移転してきた曹洞宗寺院です。